

## 事後評価調書

I 事業概要						
事業名	交通安全対策事業（歩道及び自転車歩行者道設置事業）					
地区名	いっぽんけんどうはちすかしらはません 一般県道蜂須賀白浜線					
事業箇所	つしましてらのちようちないはじめ 津島市寺野町 地内始め					
事業のあらまし	<p>一般県道蜂須賀白浜線は、あま市蜂須賀を起点とし、津島市の東部地域を南北に貫き津島市白浜町に至る道路であり、海部地域の東西交通の主要幹線道路である一般県道給父西枇杷島線、主要地方道あま愛西線、主要地方道名古屋津島線、一般県道津島七宝名古屋線と接続する幹線道路である。</p> <p>本事業区間は、市立蛭間小学校の通学路であるとともに、沿線に名鉄津島線青塚駅、県立津島東高校及び市立神守中学校があり、朝夕の通勤、通学の歩行者及び自転車が非常に多いにも関わらず、現道には歩道がなく、幅員も狭小であるため、非常に危険な状態におかれていた。特に、小学校の通学路となっていることから、その安全確保が喫緊の課題となっていた。</p> <p>こうした背景から、本事業は歩道を整備することにより、危険通学路の解消及び歩行者等の安全確保を図ったものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 危険通学路の解消 ② 歩行者等の安全確保</p> <p>【副次目標】（事前評価時に設定した場合、記載する） なし</p>					
事業費	事業費		内訳			
	4.4 億円		□工事費 0.7 億円、□用補費 3.5 億円、□その他 0.2 億円			
事業期間	採択年度	2013年度	着工年度	2013年度	完成年度	2017年度
事業内容	自転車歩行者道設置工事 延長 300m 幅員 11.75m					
II 評価						
① 事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>①事業実施前後の「死傷事故件数」と「死傷事故率」を比較 年平均死傷事故件数(件/年) 1.0 (2010-2013) ⇒ 0.5 (2017-2020) 削減率 50% 死傷事故率(件/億台年) 64.5 (2010-2013) ⇒ 37.6 (2017-2020) 削減率 42% ※現場着工 2014 年度～</p> <p>②自転車歩行者道が整備され、物理的に歩車分離が図られ、朝夕の通勤、通学時における自転車・歩行者の通行の安全性が向上している。</p> <p>【達成状況に対する評価】 自転車歩行者道の整備により、連続した歩行空間ができ、「死傷事故件数」と「死傷事故率」の改善が見られた。これにより、駅と高校を結ぶ区間のほか、通学路に指定されている区間の歩行者・自転車交通の安全性が向上し、当初の目標を達成している。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】 なし</p> <p>【達成状況に対する評価】 なし</p>				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	初期の事業目的を達成し、安全・快適な歩道が整備されていることから、今後の事後評価の必要性ない。					

改善措置の必要性	事業目標に対する効果が十分に発現しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性はないものとする。
同種事業に反映すべき事項	事業箇所の沿線に位置する蛭間小学校は、避難所に位置付けられており、学校側に歩道を設置したことで、近隣住民の災害時の避難の安全性が向上したため、避難所の位置も意識した歩行者自転車道設置を検討することが同種事業に反映すべき事項とする。